

2026年度 運輸安全マネジメント



寝屋川バス 株式会社

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

1. 社長及び役員は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たします。
2. 輸送の安全の確保に関する声の傾聴など、現業の状況を把握した上で、全社員に対しても輸送の安全の確保を浸透させ、定着させます。
3. 輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善を確実に実施するとともに、安全対策を不断に見直し、全社一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めます。
4. 輸送の安全に関する情報については、積極的にホームページ上で公表します。

2. 輸送の安全に関する2025年度安全目標および当該目標の達成状況

年度	重大事故件数	有責事故件数
2025年度目標	0	7
2025年度結果	0	4
目標に対しての結果	達成	達成
2026年度目標	0	3

【2026年度 安全目標】

1. 重大事故件数0件を達成します
2. 有責事故件数3件以内を達成します
3. 後退事故件数0件を達成します
(2025年度 後退事故件数 1件)

【寝屋川バス 安全方針 3原則】

1. 安全な輸送が最優先
2. 法令遵守の徹底
3. 安全意識・取組の向上

3.自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

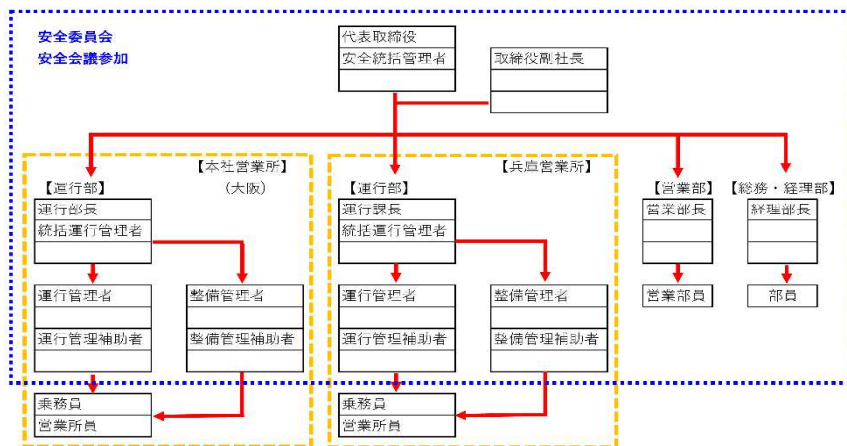
2025年度は自動車事故報告規則第2条に規定する事故(重大事故)はありませんでした。

4.輸送の安全に関する組織体制および指揮命令系統

社内にて安全の確保について適切な対応が取れる様に、必要な体制を構築しております。指示・決定事項や注意事項については安全統括管理者より各拠点責任者へ伝達を行い、全営業所への周知が行き届く様に管理体制を整えております。また運輸安全マネジメントに関する組織として安全委員会を設置し、代表取締役をはじめ各部門の代表者が集まり定期的に安全会議を必ず行い、全ての安全に関わる事案について話し合い意見交換する場を設けております。

【輸送の安全に関する組織体制および指揮命令系統図】

環屋川バス株式会社



5.輸送の安全に関する重点施策計画

①安全意識の継続的向上

- ・全社員が事故・違反を起こさない気持ちと意識を高く持ち、継続して取り組む
- ・あおり運転等に応じず防衛運転に徹し、常に譲る気持ちを持ちプロとしての運転に徹する

②健康管理の強化

- ・全社員の健康管理体制を推進し、健康不良による起因事故の防止を図る

③労務管理の強化

- ・改善基準告示を遵守し、過労運転防止のための対策を進めていく。

6.輸送の安全に関する計画

1.年間教育計画に沿った乗務員集合研修の実施

- ・対話を重視しコミュニケーションを図りながら、自分で考え動き発する研修を行う

2.ドライブレコーダーを活用した教育研修の実施

- ・ヒヤリハットデータ収集の強化し、自社事故事例と共に研修にて周知を行う

3.能力・経験別研修の実施

- ・年次や経験能力に応じた研修の実施

4.事故・災害訓練・救急救命講習の実施

- ・事故・災害訓練については継続実施し、可能であれば救急救命訓練も実施する。

5.社外実務研修・講習の積極的な受講

- ・クレフィール湖東/運管一般講習/NASVA安全マネジメント関連講習/整備実務講習など

6.健康管理体制の強化

- ・SAS検査・脳ドックの受診定着化、産業医や保健師との面談実施による健康意識の向上
- ・心疾患検査や視覚検査を強化し、健康で働ける環境を構築・推進する。

7.代表取締役、安全統括管理者による職場巡視の実施

- ・定期的な巡視により、現場の状況把握や環境改善、コミュニケーション強化を図る

7.輸送の安全に関する予算等

単位(円)

1.社内研修予算		
①乗務員年間計画研修	34名	680,000
②冬季実地(雪上)研修	4名	200,000
③クレフィール湖東研修	2名	80,000
研修関連予算計		960,000
2.運行管理予算		
①安全マネジメント教育研修	2名	12,000
②NASVA適性診断〈一般〉	12名	28,800
〈初任〉	0名	0
〈適齢〉	2名	9,600
③NASVA運管一般講習受講	2名	17,600
④NASVA運管基礎講習受講	0名	0
運行管理予算計		68,000
3.車両設備投資予算		
①衝突軽減ブレーキ	4台	2,120,000
②異常時対応システム	4台	1,200,000
③ドライバーモニター	4台	320,000
④新型アルコールチェッカー	13台	780,000
車両設備予算計		4,420,000
4.健康管理予算		
①定期健康診断 年1回	45名	360,000
②SASスクリーニング検査	15名	82,500
③脳ドック検診	5名	100,000
④心疾患検診(心エコー)	5名	50,000
⑤眼底検査	40名	160,000
健康管理予算計		752,500
予算総額		6,200,500

8.事故、災害時における報告連絡体制

※社内の危機管理系統図にて緊急時対応の方法及び連絡先を確認しております。

9.安全統括管理者、安全管理規定

安全統括管理者…取締役副社長 菊池 孝義

※別紙の安全管理規定全文(PDF)をご参照下さい。

10.輸送の安全に関する教育および研修の計画

※別紙の年間教育計画(PDF)をご参照下さい。

11.自社内部監査の結果及び是正措置

2026年3月に社内監査員による内部監査を実施いたしました。

年度内に発生した事故が過去で最も少ない件数となり、安全目標も達成する事ができ、監査による大きな指摘改善事項もありませんでした。しかし2025年9月に兵庫営業所が神戸監理部より乗務員への指導監督不足として文書警告を受けた事について、既に再教育の実施や社内周知による改善対策を行い報告も行っているものの、次年度の重要課題として再度認識し、乗務員の指導監督を更に強化し改善を行い、再発の防止に努めて参ります。

12.輸送の安全に関する行政処分等の情報公開

2025年度は行政処分はありませんでしたが、国土交通省より乗務員に対する指導監督が不十分であった事については是正勧告を受けました。

この事を重く受け止めて、2026年度は特に指導監督について強化してまいります。